

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 日進市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考				
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業評価	自己評価	目標達成度	満足度		補足	目標①	目標②	
巡回・窓口相談指導事業	地域内小規模事業者の経営改善を図るため、積極的な巡回・窓口相談事業を実施し、個々のニーズへ対応する。また、伴走型支援体制を充実させ事業所の経営改善と発展を支援するとともに、創業支援を始め、地域性等を鑑み、経営全般、経済環境の整備等を図ることを目的とする。	巡回窓口指導実企業数358社（うち非会員企業数4社） （一人当たり119件） 巡回窓口指導延べ件数770件（うち非会員企業数4件） （一人当たり256件） 課題解決提案数9件（一人当たり2件） 経営革新承認件数2件（一人当たり1件）	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延べ件数 (達成度 73.3 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 30.0 %)	新型コロナウイルスが5類に移行したことで落ち着きを見せ始めたが、影響は多大である。相談内容は多様化しており、きめ細やかな伴走型支援ができ、指導内容の充実が見られた。		総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	指導件数、提案件数のさらなる増加を図り、会員満足度の向上に努める。また、新型コロナウイルス関係も引き続き対応し、新たな施策相談等にも柔軟に対応し、申請サポートも行う。
記帳継続指導事業	商工会が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と併せて経営力向上に結びつけることを目的とする。	指導対象者数：80人 指導延べ日数：359日 指導延べ回数：901回 6月・11月に記帳確認指導会。7月・1月に源泉、年末調整指導会。2月・3月に決算、確定申告指導会の特別相談指導会を実施。	小規模事業者	指標	指導延べ回数 (達成度 90.1 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 %)	指導日を決めて指導会を開催しているが、徐々に定着してきており、混雑が解消してきている。また、e-Taxやインボイスに関する相談にも申告指導等の際に柔軟に対応することができた。		総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	今後は記帳機械化処理件数増加に努める。また、会員のe-tax申告への切り替えにも努めていくとともに、インボイス・電子帳簿保存対応への指導も行っていく。
講習会事業	経営環境の変化、多様化するニーズ等に対応すべく、小規模事業者に必要な金融・税務・労務・法律・記帳・情報等の知識習得や時事的な問題等に対して円滑に対処する。また、事業所の安全な労務管理運営のための資格取得に資することを目的とする。	集団：6回 33人（うち経営革新1人） 個別：60回 468人 計：66回 501人	小規模事業者	指標	集団・個別参加者数 (達成度 83.5 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 %)	補助金の相談会、各種助成金の相談会及び申請サポート等、会員ニーズに合ったタイムリーな講習会実施ができ、有意義なものであった。		総合評価	A	事業評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	会員ニーズを把握し、近隣商工会との連携を図り、効果的かつ有効的な講習会を実施していく。
地域振興祭事業（日進市岩崎城春まつり）	昭和62年、岩崎財産区が岩崎城を建立したことを契機に、日進市が城址公園を整備し、歴史記念館が建設された。市の歴史遺産を背景に、地元商工業者が地域に密着した販売促進とPR活動を行うとともに、地域総合振興を図ることを目的とする。	開催日：令和5年4月2日 I 殿様、姫様のステージ登壇・太鼓ショー・楽器演奏・パフォーマンス・バザー等を城址公園で実施。 II 鳴子おどり披露・バザーを岩崎川周辺で実施。 III 両会場を結ぶ道中に「おもてなし街道」と称し、2拠点でサービスの提供を実施。	小規模事業者及び地域住民	指標	出店バザー売上高（万円） (達成度 123.0 %)	指標	来場者数 (達成度 130.8 %)	新型コロナウイルス感染症感染拡大より4年間開催できなかったが、感染拡大が落ち着きを見せ、今年度開催ができた。好天に恵まれ、来場者も賑わいを見せ、出店者の売上もコロナ前よりも増加した。		総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 調査結果 B	満足度 A 必要性 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	令和5年はおまんとうは中止。
地域振興祭事業（にっしん夢まつり）	小規模事業者の共同宣伝及び共同催事の実施により、地域商工業の振興発展を促す。また、地域社会の活性化や地域住民との連携意識の高揚と融和を図ることにより、総合経済団体としての位置づけや組織強化を図ることを目的とする。	開催日：令和5年9月17日 会場を日進市役所周辺に設置し、市内外の鳴子おどりチームによる踊りの競演を披露する傍ら、飲食バザー・展示PR・体験コーナー等を実施。コラボレーションとして、別途実行委員会による花火大会も同時開催し、相乗効果が得られた。	商工会員及び地域住民（小規模事業者にとって事業のPRに役立つ）	指標	協賛企業数 (達成度 108.9 %)	指標	出店（展）企業数 (達成度 98.5 %)	令和4年の開催と比べ来場者数・バザー売上高は増加した。好天に恵まれ大盛況で終えることができた。また、協賛企業者のPRにも繋げることができた。		総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 調査結果 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	新型コロナウイルスが5類に移行されたことから、また賑わいを見せ始めた。
地域振興祭事業（日進市産業まつり）	市・J Aと三位一体となり日進市を挙げての総合振興事業で、地域商工業者の共同宣伝及び共同催事の実施により、地域商工業の発展を促し、各種団体の相互融和と連携を図ることにより、地域産業社会の活性化に資することを目的とする。	開催日：令和5年11月19日 会場を市役所周辺及びJ A駐車場として行った。催事内容はステージ行事で商工PRの他、商工展示、飲食バザーを行い、商工会員には招待、抽選券を配布案内した。	小規模事業者及び地域住民	指標	出店（展）企業数 (達成度 66.7 %)	指標	来場者数 (達成度 60.0 %)	来場者数は増加・バザー売上高は昨年度と比較し横ばい、今年度は出店者を市内の業者に限り、地域経済の活性化に繋げ、出店者の販売促進・店舗PRにも繋げることができた。		総合評価	A	事業評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 調査結果 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 下げる	今後新型コロナウイルス感染症拡大前の、通常開催の形での開催計画立案を行っていく。

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 日進市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考					
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等			
				指標	セール参加者数 (達成度 90.6 %)		指標	(達成度 %)		セール期間は12月1日から31日間行い、買い上げに応じて応募シール・応募はがきを進呈し、抽選会参加を促し、年末の販売促進に繋がった。応募はがき・デジタルスタンプによる応募方式も好評であり、経済効果が得られた。		総合評価	A		事業評価の	自己評価	満足度	補足	目標①
商店街振興事業（歳末感謝セール・抽選会／日進セレクト商品推奨）	近隣市町への消費流出の歯止めを掛け、市内小売・サービス業者の共同販売促進事業としての顧客サービスを一般的に消費の多い年末に開催し、廉価で大きな経済効果を生むことができる。また、日進の特産品「にしんセレクト」の認知度を高め、贈答品等として購入を図る。	参加店にて応募シールを集め、応募はがきを郵送いただく形で本年も行った。また、今年度は新たな試みとしてアプリと連携したデジタルスタンプを行い、電子でも抽選に応募ができる形とした。令和6年1月19日に商工会館にて抽選を行った。にしんセレクト商品は、推奨品アピールPRを行った。	小規模事業者及び地域住民	指標	160	実績 145	指標				総合評価	A	事業評価の	自己評価 A	A		目標①	目標②	老若男女問わず応募ができるよう、幅広い応募方法で参加率の増加を図り、地域経済活性化を図る。
地域産業活性化事業（友好姉妹提携事業）	長野県木祖商工会青年部が当市（当時町）を視察訪問したのが交流の始まりで、その後「商売の夢」が受け継がれていくようにと願い、平成元年に提携を締結した。また、三重県志摩市商工会（当時阿児町）とも視察交流をしたことが始まりで、平成4年に提携を締結した。更に、それぞれで行政提携も行われた。継続的に人と物産の交流による経済の活性化を図っていくことを目的とする。	毎年5月の総（代）会への相互訪問。9月のにしん夢まつり・11月の日進市産業まつりには物産販売、志摩の夏まつり、ええじゃんかまつり、木祖の源流夏まつり、やぶはらまつり等々の催事で人的交流、経済交流を深めた。	小規模事業者及び地域住民	指標	80	実績 50	指標				総合評価	B	事業評価の	自己評価 B	B		目標①	目標②	引き続き姉妹提携市村との交流の輪が広がり、継続できるよう、平素並びに周年事業等継続していく。
地域商工業活性化事業・部会事業	市内購買率の拡大を図るとともに、市内事業者の活性化を図るため会員店舗を広く地域に紹介し、地域住民が会員店舗で飲食や買い回り頻度を高めることを目的とする。また、各部会活動により市内事業者の活性化を図り、市と連携して各種商工業活性化事業等に取り組む。	市内店舗を紹介するためWEB上とアプリに情報を掲載。WEBとアプリへの誘導のため、市内情報誌に記事を掲載した。また、今年度は歳末感謝セールと連動し、さらなる集客効果を得ることができた。	小規模事業者及び地域住民	指標	160	実績 145	指標				総合評価	A	事業評価の	自己評価 A	A		目標①	目標②	市と商工会での協議を重ね、市内企業のアピールと内需拡大策とした事業展開を行い、継続したい。
経営強化—経営相談指導事業（会員の集い）	会員事業所を対象に、会員相互の交流の場を提供し、異業種交流を図り、新たなビジネスチャンスを創出することを目的とする。	開催日：令和6年1月6日。毎年行っている新春賀詞交換会に組み込ませて開催。第1部：時局経営セミナー、第2部：異業種交流会という形は変えずに実施することで、新規加入会員及び加入予定者の商工会理解を推進した。	小規模事業者（会員事業所）	指標	70	実績 57	指標				総合評価	B	事業評価の	自己評価 B	B		目標①	目標②	新春賀詞交換会に組み込む形で行ったが、開催日・会員ニーズに応じた設定を考えた上で、開催を検討していく。
雇用促進・健康維持増進事業（従業員定着アップ「ポウリング」「健康診断」事業）	小規模事業者にも大企業と同等の福利厚生が求められる中、ポウリングを通じて、小規模事業者相互の交流を図るとともに各社の事業主と従業員との交流を図り、定着率向上を目的とする。また、健康維持増進事業として定期健康診断を実施し、労働安全衛生規則の助行と雇用の安定化に資することを目的とする。	会員親睦ポウリング大会は令和5年6月24日に実施。健康診断は新型コロナウイルス感染症により中止。	会員事業所代表者・従業員及び家族（小規模事業者の健康維持により生産性の向上に役立つ）	指標	120	実績 96	指標	350	実績 -		総合評価	B	事業評価の	自己評価 C	B		目標①	目標②	ポウリング・健康診断ともに新型コロナウイルス感染症拡大前の、通常開催の形での開催計画立案を行っていく。

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 日進市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考							
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等					
青年部・女性部事業 （青年部事業）	商工会事業を積極的にバックアップするとともに、経営者又は後継者としての経営資質向上を通じて、市内商工業の総合的な改善発達を図り、併せて日進市の振興発展、社会一般の福祉の増進、日進市の新しいまちづくりに取り組むことを目的とする。	4月：岩崎城春まつり 9月：にっしん夢まつり 11月：日進市産業まつりにて飲食、即売、ゲーム等で出店し、1月にはふれあいスキーツアーを開催。 また、部員相互のスキルアップのため勉強会を開催する他、質問交換会参加で異業種交流を図った。	小規模事業者を中心とした商工会青年部員・市内地域住民	指標	青年部員数 (達成度 74.3 %)			指標	講習会・勉強会開催数 (達成度 33.3 %)			組織強化のためのガイダンス等を行い部員増強に繋げることができた。更に、青年部員を講師とした勉強会を通じて経営資質向上ができた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	若手後継者事業を継続し、一層の経営力向上を図っていく。
				目標数値	70	実績数値	52	目標数値	3	実績数値	1						必要性	A	現行どおり	現行どおり	
青年部・女性部事業 （女性部事業）	経営女性として、女性ならではの特性を活かし、知識と教養を深めることで資質を向上させることを目的とし、商工会事業に積極的に参加することにより、地域の発展と活性化に寄与する。	4月：岩崎城春まつり 9月：にっしん夢まつり 11月：日進市産業まつりにて即売、PR等で出店を行った。また、経営女性としての研修会・講習会、勉強会の開催と質問交換会参加で異業種交流を図った。	小規模事業者を中心とした商工会女性部員	指標	女性部員数 (達成度 81.7 %)			指標	講習会・勉強会開催数 (達成度 100.0 %)			催事等、商工会事業に積極的に参加することで地域貢献に寄与することができた。また、部員ニーズを把握しながら中身の濃い講習・研修を行うことができた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	経営女性として、これから必要な勉強会を重ねていく。それによって部員数増加に繋げていく。
				目標数値	120	実績数値	98	目標数値	3	実績数値	3						必要性	A	現行どおり	現行どおり	
福利厚生事業 （共済事業）	地域内小規模事業者に対し、商工会の取り扱う各種共済の説明を行い、経営基盤の充実化等を図ることを目的とする。	商工会ニュース（商工にっしん）の配布時に小規模企業共済・経営セーフティー共済・中小企業共済・火災共済・自動車共済等のチラシ配布を行った。また、巡回・窓口相談指導時に新規加入促進を図った。	小規模事業者	指標	共済手数料収入額（千円） (達成度 100.1 %)			指標	(達成度 %)			各共済のメリット及び商工会の扱う共済として、安心安全をPRできている。また、各種共済担当者との連携も図ることができた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	継続したPRを進め、商工会加入のメリットとして加入推進を図っていく。
				目標数値	4,000	実績数値	4,004	目標数値		実績数値							必要性	A	現行どおり	現行どおり	
労働保険事業 （労働保険事務組合事業）	労働保険事務組合は、小規模事業者等の委託を受けて、労働保険料の納付、各種届出等の事務を行うことにより、小規模事業者等の事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	①労働保険料、一般拠出金の計算及び徴収金の申告納付。 ②雇用保険被保険者資格取得及び喪失の届出。 ③労働保険関係成立届、雇用保険適用事業所設置届等。 ④労働保険特別加入申請、変更申請、脱退届等に関する手続き等々を随時指導した。	小規模事業者	指標	適用事業所数 (達成度 100.6 %)			指標	(達成度 %)			新規事務委託、他組合からの委託換えを含め、事務委託事業所数の増加に努めることができた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	特別加入、保険料の分納など、事務組合に委託することで得られるメリットを伝えることで更なる委託推進を図っていく。
				目標数値	175	実績数値	176	目標数値		実績数値							必要性	A	現行どおり	現行どおり	
税務関係団体指導事業 （青色申告会事業・法人会事業）	税務支援団体として、個人事業主を中心に青色申告を普及するための活動を支援し、団体事業運営等に協力する。法人会事業にあっては、愛知県20単会のうち昭和法人会及び日進支部活動を支援し、地域社会貢献や企業発展の一助となり、併せて地域内小規模事業者の発展に資することを目的とする。	①税務定例相談は、随時応談。 ②源泉・年末調整・記帳確認・確定申告の指導会は、税務署関係団体との連携を図り実施した。 ③法人会における社会貢献活動として、市内催事にて税務関連事業の普及を図るとともに、組織強化の研修会、税務講習会を開催した。	小規模事業者	指標	青色申告相談会参加者数 (達成度 93.4 %)			指標	社会貢献・組織強化資料配布数 (達成度 61.9 %)			パソコンによる記帳が増加し、相談時間が長くなるため、時間を区切った相談対応にシフトした。その結果、待ち時間の短縮に繋がり、スムーズな対応ができた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	市税務当局との連携がより円滑に運営できるようにするとともに、確定申告資料の安全管理にも注意を図っていく。また、法人会として横の連携も図っていく。
				目標数値	350	実績数値	327	目標数値	970	実績数値	600						必要性	A	現行どおり	現行どおり	
経営強化事業 （会員親睦ゴルフ大会）	会員事業所を対象に、会員相互の交流の場としてゴルフ大会を開催し、異業種交流を図り、新たなビジネスチャンスを生み出すことを目的とする。	開催日：令和5年10月6日開催。 参加者数：63名	小規模事業者（会員事業所）	指標	参加者数 (達成度 66.3 %)			指標	(達成度 %)			異業種交流ニーズ即した交流の輪を広げることができた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症拡大前での、通常開催の形での開催計画立案を行っていく。
				目標数値	95	実績数値	63	目標数値		実績数値							必要性	B	現行どおり	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。